

2 決算の概要

◆ 普通会計決算額

子育て特別給付金や住民税非課税世帯臨時特別給付金の支給など扶助費が増加した一方で、特別定額給付金の支給の減少などにより、歳入歳出ともに大幅に減少しました。

歳入総額	836億59百万円	<▲	131億02百万円、▲ 13.5 % >
歳出総額	772億09百万円	<▲	112億21百万円、▲ 12.7 % >
実質収支	14億66百万円	<▲	9億02百万円、▲ 38.1 % >

◆ 主な歳入の状況

①市税収入	240億46百万円	<▲	1億60百万円、▲ 0.7 % >
法人市民税	+ 65百万円	都市計画税	▲ 24百万円
固定資産税	▲ 44百万円	開発事業等緑化負担税	▲ 57百万円
個人市民税	▲ 1億14百万円		
②各種交付金	36億54百万円	<+	5億34百万円、+ 17.1 % >
地方消費税交付金	+ 2億66百万円	法人事業税交付金	+ 1億04百万円
③普通交付税	24億38百万円	<+	12億29百万円、+101.7 % >
④国庫支出金	229億77百万円	<▲	91億92百万円、▲ 28.6 % >
子育て特別給付金補助金		+	22億56百万円
社会資本整備総合交付金		+	16億69百万円
地方創生臨時交付金		▲	11億08百万円
特別定額給付金補助金		▲	138億82百万円
⑤地方債	36億54百万円	<▲	75億46百万円、▲ 67.4 % >
彩都の丘学園増築等		+	7億23百万円
環境クリーンセンター基幹改良		▲	11億71百万円
船場まちづくり		▲	54億17百万円
⑥繰入金	36億35百万円	<▲	38億77百万円、▲ 51.6 % >
都市施設整備基金繰入金		+	28億30百万円
財政調整基金繰入金		▲	16億31百万円
北大阪急行南北線延伸整備基金繰入金		▲	37億28百万円

◆ 主な歳出の状況

①義務的経費	308億85百万円	<+	32億36百万円、+ 11.7 % >
人件費 (退職手当、学習支援員(コロナ対策)など)		▲	1億37百万円
扶助費 (子育て特別給付金、住民税非課税世帯等臨時特別給付金など)		+	35億43百万円
公債費 (元金償還額の減)		▲	1億70百万円
②投資的経費	251億46百万円	<+	11億39百万円、+ 4.7 % >
旧阪大キャンパス建物		+	27億30百万円
彩都の丘学園増築等		+	21億80百万円
北大阪急行線延伸整備/新駅周辺まちづくり		▲	8億10百万円
環境クリーンセンター基幹改良		▲	23億59百万円
③その他	211億78百万円	<▲	155億96百万円、▲ 42.4 % >
積立金	▲ 4億41百万円	特別定額給付金交付	▲ 138億82百万円